

シラバス

2025 年度

ファインアート科版画専攻2年

学校法人高澤学園 美術造形専門学校

創形美術学校

ファインアート科／ビジュアルデザイン科／研究科

ファインアート科版画専攻
シラバス

学科科目：前期学科授業名：「版画講座」 **担当教員：**今井圭介

授業期間：2025 年 4 月 12 日(土)–7 月 5 日(土)

授業時間：11：00–12：30

修得単位：0.5 単位

学習目標：「版画」という言葉は明治の終わり頃につくられた造語です。それは版がもつ独自の表現による、版からこそ創出される画（え）ということを強く意識して生み出されたものでした。そうした版画についてルーツをたどったり実物や資料、画像をみたりしながら、より一層に理解を深めていくことを目標にします。

授業内容：版画の用語や技法についての解説からはじめ、浮世絵版画や日本の近・現代版画の紹介を実際の作品や資料、画像使ってわかりやすくみていきます。

学科科目：前期実技授業名：「ドローイング」 **担当教員：**鈴木吐志哉

授業期間：2025 年 4 月 9 日(水)–4 月 16 日(水)

授業時間：9：20–12：30／13：30–16：30

修得単位：1 単位

学習目標：版画制作から離れ、ドローイング制作に集中する時間とする。版画の技法に制約されることなく、様々な支持体や素材を試す事で多角的に各自の表現を研究する。

授業内容：サイズ・支持体・素材・枚数・他。各自の判断で選択して制作。版表現から一旦離れ、自由な表現を繰り返す中から自分の作品について考える授業である。今回は特に多くの枚数をこなすことで、失敗を恐れずに制作する楽しみを存分に意識する期間とする。

実技科目：前期実技授業名：「イラストレーション A」 担当教員：須田浩介

授業期間：2025 年 4 月 17 日(木)–4 月 25 日(金)

授業時間：9：20–12：30／13：30–16：30

修得単位：2 単位

学習目標：イラストレーターがクライアントワークで行うアイディア出しラフの提出などのプロセスを活かし制作に取り組みアーティストとしてもイラストレーターとしても必要なコンセプトと作品表現とを繋げる力を伸ばす。アナログ画材を使用し与えられた枠組みの中で作品を制作する上で個々の持つ個性や表現を活かしながらより魅力的な作品表現となる様に作品を描く上でのコンセプトと「何故」をよく考えながら表現に繋げ自分の表現や世界観をブランディングしていく為の授業です。

授業内容：4 枚の作品を描く。描くテーマは各自で決めて良いです。自分なりに表現のフォーマットを考えてから描く。

描くもののテーマ、コンセプト、発表する際のブランディングを意識する。

テーマ例、四季、トランプ、方角、喜怒哀楽、etc

分かりやすいので 4 にまつわるものを例に出しましたが別にそこはそんなに意識しなくても良いです。自分の

好きな物事などに絡めて自分の表現の枠で 4 枚描く。

実技科目：前期実技授業名：「リトグラフ」 担当教員：中村真理

授業期間：2025 年 5 月 7 日(水)–5 月 27 日(火)

授業時間：9：20–12：30／13：30–16：30

修得単位：3 単位

学習目標：講義、実習を通してリトグラフの製版方法や刷りの行程を学び理解を深め、リトグラフの特性を活かした制作を行う。

授業内容：リトグラフの特性を利用し、個々の表現したいテーマに基づき制作する。4 版種の中でリトグラフの版作りは彫るのではなく「描く」という行為に最も近い版、ドローイングの様に手を動かして版づくりを行い自分自身で体験しながらリトグラフの仕組みを学んでいく。

実技科目：前期実技授業名：「石版画」 担当教員：板津悟

授業期間：2025 年 5 月 28 日(水)–6 月 3 日(火)

授業時間：9：20–12：30／13：30–16：30

修得単位：1 単位

学習目標：講義、実習を通して石版画の歴史や技術を学び、平版の仕組みを体感しながら石版石の特徴を活かした制作を行う。

授業内容：石版石を版材として使える様な状態にするまでの作業工程も含めて、素材との対話を大切にしながら個々の表現を考える。作品はモノトーンとし、一つ一つの行程を把握する。

実技科目：前期実技授業名：「シルクスクリーン」 担当教員：東樋口徹

授業期間：2025 年 6 月 4 日(水)–6 月 20 日(金)

授業時間：9：20–12：30／13：30–16：30

修得単位：2 単位

学習目標：シルクスクリーン版画制作を通して孔版画の専門的知識を習得し、自己表現に結びつくよう学習します。基本の直接製版方法を重ねて実習し、環境にやさしい水性インクを使用して刷紙に刷ります。PC を使用した 4 色分解による 4 版 4 色の作品（18×25cm 位）を 1 点、5 版以上を使った作品（25×38cm 位）を 1 点制作、色を刷り重ねる時の表現効果、用具資材の正しい使い方、手順を覚え多彩な効果を会得していきます。

授業内容：基本的な水性インクで紙に刷る 4 版 4 色を使った作品（A4／21cm×29.7cm）を一点（紙4枚程度）、5 版以上を使った作品（A3／29.7cm×42cm）を一点（紙8枚程度）制作。

実技科目：前期実技授業名：「木版画」 担当教員：鈴木吐志哉

授業期間：2025 年 6 月 23 日(月)–7 月 12 日(土)

授業時間：9：20–12：30／13：30–16：30

修得単位：3 単位

学習目標：水性多色木版画作品制作および基本技術と技法の展開。

授業内容：1 年次の「専攻別ワークショップ（版画専攻）」で体験した油性木版画 1 版単色をこの授業ではさらに水性多色木版画に展開していくことで、木版画技法の充実と色彩について研究します。水性多色木版画の技法は浮世絵に見られるように日本独自の進化を遂げた技法でもあります。古来からの技法と現代の技法を駆使して自由な発想で制作してもらいます。

・版木サイズ 300×225mm（4～5 版多色）

実技科目：前期実技授業名：「木口木版画」 担当教員：長島 充

授業期間：2025 年 9 月 1 日(月)–9 月 9 日(火)

授業時間：9：20–12：30／13：30–16：30

修得単位：2 単位

学習目標：木口木版画は、18 世紀頃ヨーロッパで完成された木版画の技法である。柘植、椿等の堅牢な木材の木口の面を、ビュランという彫刻刀で彫り進んでいく木口木版画の技法は、白と黒との精緻な表現に適している。本実習では、版画の技法の中でもとりわけ単純で明快な、彫って摺るという行為に重点を置く。原初的な彫版の作業の中で制作者は自分自身の素直な表象と出会う実習である。

授業内容：テーマ＝自由制作

実技科目：前期実技授業名：「銅版画」 担当教員：馬場知子

授業期間：2025 年 9 月 16 日(火)–10 月 7 日(火)

授業時間：9：20–12：30／13：30–16：30

修得単位：3 単位

学習目標：銅版画の制作プロセスを修得し、作品を完成させます。銅版画には様々な技法がありますが、エッチングを中心に物質の変容と結びついた腐食技法の多様な表現に触れます。版を媒介することで生じる他者性を柔軟に取り入れながら自分の表現の世界を広げましょう。

授業内容：まずテストプレートで様々なマチエール表現を試しながら「道具、薬品の使い方」「描画」「製版」「刷り」の作業工程を理解し体得していきます。本作では自分のイメージの具現化に必要な表現や技法を選択し制作します。
(わからないことはなんでも聞いてください。安全に楽しく制作しましょう)

学校法人高澤学園

創形美術学校

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 3-31-2

TEL 03-3986-1981 FAX 03-3986-1982

URL <https://www.sokei.ac.jp/>

E-mail: sokei@sokei.ac.jp